



つもりっこ

令和6年1月9日
第19号
益城町立津森小学校

新年早々、能登半島沖地震により多くの方が被災されました。地震や津波の恐ろしさを伝える映像を見ながら、言葉を失ってしまいました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

新年 あけまして おめでとうございます。 今年もよろしくおねがいします。

本日から3学期が始まり、学校には元気な津森っ子たちの声が響いています。きっと楽しい冬休みを過ごし、大きく成長してくれたのだらうと思います。

さて、年始の風物詩と言えば、初日の出、初詣、おせち料理、餅つき、初夢、年賀状、お雑煮、書き初め、箱根駅伝・・・など各ご家庭で様々なものが浮かんでくることと思いますが、子どもたちにとっての一番の楽しみは「お年玉」ではないでしょうか。



「お年玉」の語源には、正月に歳神（年神）を迎えるために供えられた丸い鏡餅が、家長によって子どもに分け与えられ、その餅が「御歳魂（おとしだま）」と呼ばれたからという説があるとのこと、その年1年間を生きるために必要な生命を、子どもに分け与えることで、子どもの無事な成長を願うという意味があるそうです。

子どもたちの健やかな成長を願うことは私たち教職員も同じです。もちろん、学校では、お年玉を渡すことはありませんが、願いを込めて、津森小の子どもたちがたくましく成長していく上で必要な知識や技能を教えたり、大切な経験を通して心を育んだりしていきます。

子どもたちの更なる健やかな成長のために、保護者の皆様、地域の皆様と思いを共有し、今年も子どもたち一人一人が自分のよさを発揮できる教育活動に全職員で取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、本年も津森小学校へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



どんどや開催、お世話になりました

1月8日（月）にPTA主催のどんどやが行われました。たくさん子どもたち、保護者・地域の皆様に参加していただきました。今年は場所を移しての開催ということで大変なご苦労もあった中、PTAの役員や専門部の皆様、大変お世話になりました。

感染症対策をお願いします

これから本格的な冬の季節を迎え、インフルエンザやコロナ感染の拡大が心配されます。学校でも、改めて感染防止に努めてまいります、ご家庭でもうがい・手洗いの徹底をお願いします。

